

AWS Oracleコンピテンシー : 事例

三井不動産レジデンシャル株式会社 様

- **案件概要**
- **案件内容 – プロジェクト背景**
- **案件内容 – 提案内容**
- **案件内容 – 使用したAWSサービス**
- **案件内容 – 結果**
- **システム構成図**

➤ 顧客名

三井不動産レジデンシャル 株式会社 様

➤ システム概要

多様化が進む社会環境に合わせて必須となっている、
新たな販売チャネルの強化・拡大、新規ストックビジネスを支えるための
IT ROI/Agilityの向上を実現できる共通基盤。

➤ 主に使用しているOracle製品および、サードパーティ製品

製品名	バージョン	ベンダ
Oracle Database 12c (Amazon RDS for Oracle)	Standard Edition Two 12	Oracle
PostgreSQL (Amazon RDS for PostgreSQL)	9	
MySQL (Amazon RDS for MySQL)	8	
JP1/Base	10	日立製作所
JP1/AJS3 Manager/Agent	10	日立製作所
Cluster Pro	3	NEC

➤ 移行プロジェクト開始/継続

- ・ 2016年4月 ~ 2019年10月 (継続)
- ・ 移行終了システム：販売支援システム、データ連携システム

➤ プロジェクト背景 (顧客の現状と課題)

現行システムの課題

- ✓ **人手を煩わせる運用保守業務**
システム運用保守業務が煩雑で属人化が進み、コスト抑制により自動化も追いつかず、運用保守品質が低下している。
- ✓ **事業変化に合わせたシステム構築への制約**
仮想化基盤として保守に耐えうる余剰資源を持っていても、ある程度の規模のシステム構築には新たな資源調達を要するため、システム基盤の準備ができるまでに非常に時間がかかり、事業変化に対して機動力を発揮するのが難しい。

➤ 提案内容

✓ **AWSサービス上に構築**

ハードウェアの保守期限を気にする必要のないAWSの同一プラットフォーム上で構築することにより、共通基盤構築から運用までの一元的共通化と自動化を実現。

✓ **運用共通基盤の構築**

監視、バックアップ、キャパシティ、構成・証跡管理をAWSサービスで共通運用基盤として構築することで、運用オペレーションの標準化による品質向上とシステム変更時の対応範囲の品質向上を実現。

Amazon CloudWatch、AWS CloudTrail、AWS Configなどのクラウドネイティブな運用サービスを採用し、AWS環境における最適な運用基盤を構築。

マネージドサービスであるAmazon RDS for Oracleを採用することにより、運用負荷の軽減を実現。

✓ **システム構築のリードタイムを短縮**

AWS CloudFormationにて、仮想サーバ/データベース/ロードバランサの構築を自動化し、設計、テストの工数を削減。マネージドサービスであるAmazon RDS for Oracleを利用することで、構築の工数を削減。

➤ 使用したAWSサービス

サービス名	提供したソリューション
Amazon VPC	仮想ネットワークを構築
Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)	仮想マシン
Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)	Oracle Database、MySQL、PostgreSQLを使用
AWS Identity and Access Management (IAM)	基盤全体のユーザ・権限の管理
Amazon Elasticsearch Service	CloudWatchで収集した仮想サーバのリソース利用状況を可視化するために使用
Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)	ファイル授受、スナップショット保管先、ログ保管先として使用
Amazon SQS	
AWS CloudFormation	仮想サーバ/データベース/ロードバランサの構築、テストを自動化
AWS Lambda	イベントをトリガーとして後続処理を実行
AWS Config	AWS環境の構成管理に活用
Amazon CloudWatch	AWS環境のモニタリングを実施
AWS CloudTrail	アクティビティの監査・追跡に使用

➤ 効果

✓ システム基盤保守コストの最適化

AWSの利用によりハードウェア保守期限切れを解消し、基盤コストを平準化。
月々のAWS利用料およびリソース使用率をモニタリングすることで最適化されたリザーブドインスタンス（RI）の購入を実現。
RIの利用によりオンデマンドと比較してさらに**約25%のコスト削減**を実現。

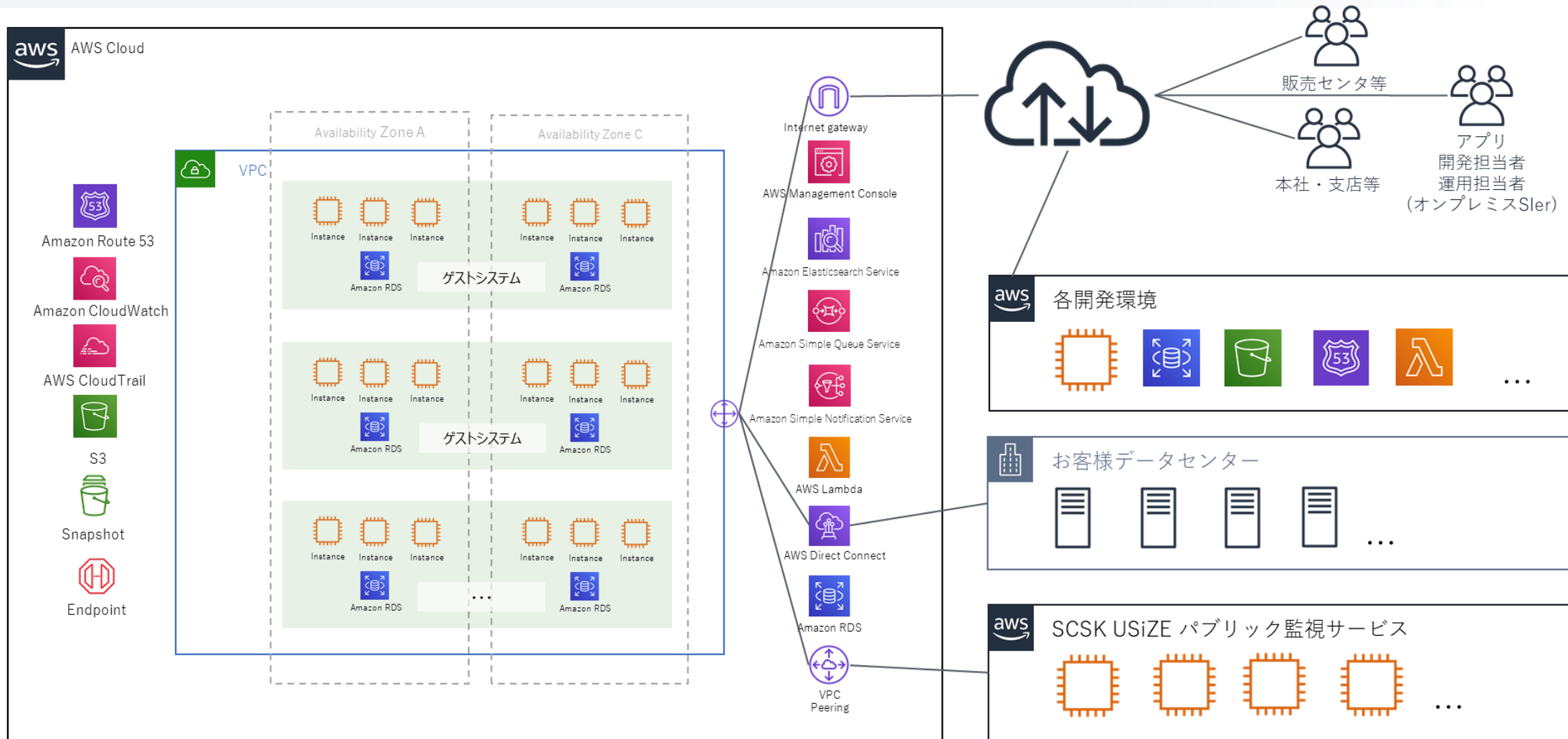
✓ 運用保守業務の品質向上

本番同様のステージング環境を、AWS CloudFormation機能を駆使し迅速に構成。
本番リリース前にステージング環境で監視テストを実施することで、不要なアラームの抑制を実施。

✓ Agility(俊敏性)の向上

可用性に応じたシステム構成をテンプレート化して自動化し、システム構築の短納期化や容易な構成管理も実現。

システム構成図



クラウド基盤共通機能